

6・7月号

# きこえの教室

# ぽっかぽか



墨田区立言問小学校  
校長 中嶋 保徳  
住所 〒131-0033  
墨田区向島5-40-14  
TEL 3625-0315  
FAX 3625-2156

きこえの教室  
TEL 3625-5204  
FAX 3625-2158

木々の緑もいよいよ濃くなり、初夏の風に肌も汗ばむ頃となりました。今月から学校では水泳の授業が始まります。子供たちから楽しみにしている様子が伝わってきます。言問小学校では、難聴児の水泳帽の色を変えて、すぐに支援できるよう工夫しています。



## 水泳時の補聴器の管理について

- プールに入るときは必ずはずし、用意しておいた補聴器のケースにしまいましょう。また、なくさないように気をつけて保管しましょう。
- 補聴器は水に弱い特徴があります。水泳の授業が終わったら、髪の毛全体をよくふくことが大切です。耳の後ろは念入りにふきましょう。

## 区内小学校保健の先生、担任の先生へ

墨田区内の各学校では、保健室で聴力検査を実施している時期だと思います。保健室で受けた検査の際、きこえにくさがあったお子さんは、きこえの教室で、もう少し詳しい検査をすることができます。検査の結果によって、医療機関の紹介や教育相談などを実施しています。



また、補聴器を使っていたり、難聴（片耳・両耳）と診断されたりして

いるけれど、通級していないお子さんたちの様子はいかがでしょう。学級適応、学習に問題は生じていませんか。「注意力が足りない」「人の話を聞いていない」「指示とは違う行動をする」「行動がワントーン遅れる」「自分の世界に入りがち」「友達とトラブルを起こしやすい」といった気になる行動の原因が、きこえの問題にある場合もあります。心配なときには、遠慮なくご相談ください。



## 相談場所としてのきこえの教室の役割

きこえの教室の担当として長年やっていると、いろいろな相談を受けることがあります。前任校でのことです。職員の方がオーディオグラムを持って、「実は娘が片方聞こえなくて」と私のところに相談に来られました。一側性難聴のお子さんをおもちの方でしたが、片方は100dBを超えていてほとんど聞こえない状態でした。一側性難聴のお子さんが学校生活で困ること、その対処方法などお話しさせていただきました。その後、その方は別の学校へと異動になったのでお話しする機会もなかったのですが、私が墨田区へ異動になるとき、「あの時、相談にのってもらえてとてもありがたかった。相談できるところがなくて困っていた。」とお手紙をくださいました。今は、いろいろな情報を簡単に手にすることができようになりましたが、保護者にとってはそれだけでは不安なこともたくさんあると思います。

また、別の職員の補聴器を使用している職員の方から、「聞こえにくさは、理解してもらえないことが多く、話を聞いてもらえて、理解してくれる人がいてとても安心できた。」とお話ししてもらったことがあります。「聞こえにくさ」によって生じる様々な困り感は、聞こえている人にとっては理解しにくいことかもしれません。

保護者、難聴児童の困り感にもっと寄り添い、また、なんでも安心して相談ができる場所としての「きこえの教室」であり続けたいと思っています。どんなことでも構いませんので、疑問や、相談したいことなど遠慮せずにご相談ください。 (文責 工藤)

### 【6・7月のグループ活動予定】

6月25日(水)・7月16日(水)

15:00~16:30

※15:00~15:30は、読み聞かせの会を行っています。



夏休み前の個別指導終了日は7月14日(月)です。夏休み開けの指導開始日は、9月1日(月)です。